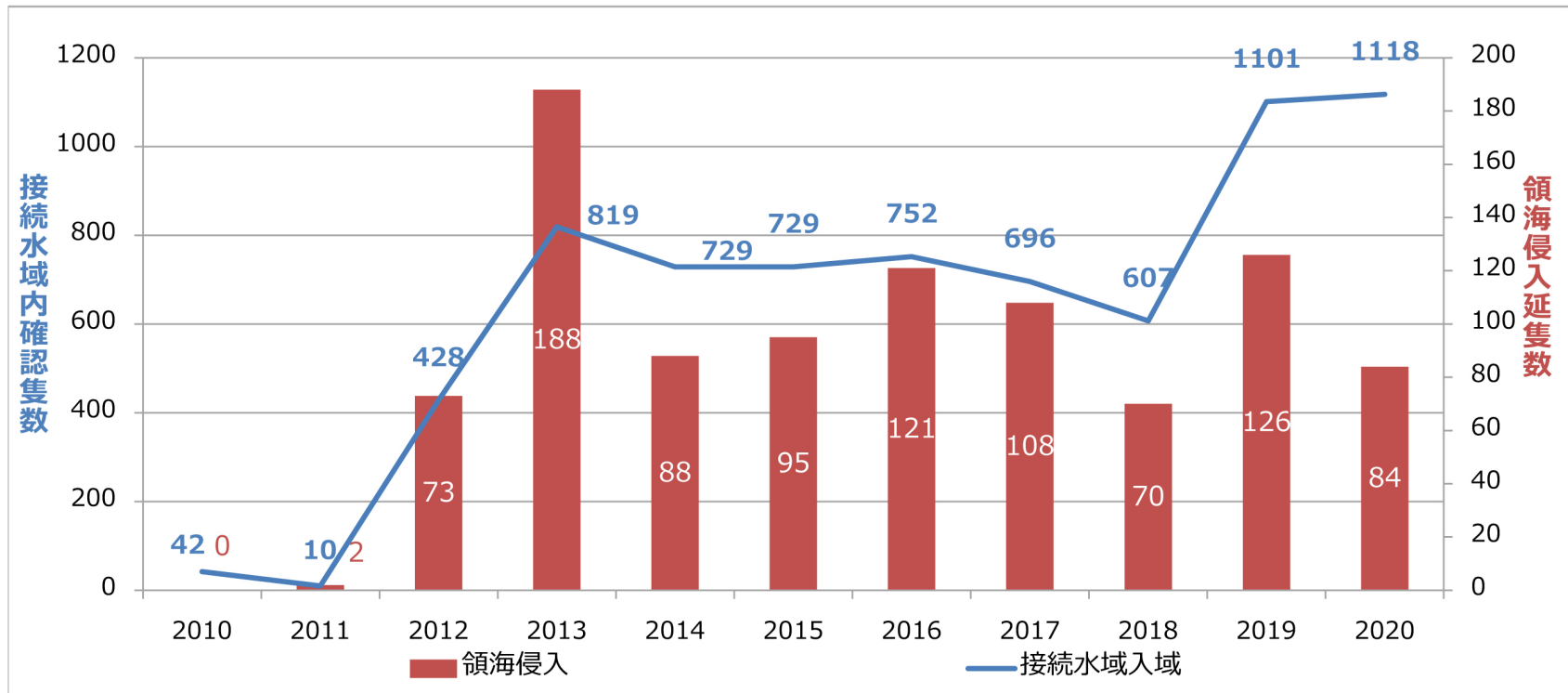


中国公船 尖閣に過去最多の319日

直近10年の中国船による尖閣周辺渡航の推移



	尖閣国有化前			尖閣国有化後								
	2010	2011	2012	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
中国公船の確認日数	-	-	-	79	232	243	240	211	171	159	282	319
接続水域入域	42	10	21	407	819	729	729	752	696	607	1101	1118
領海侵入	0	2	5	68	188	88	95	121	108	70	126	84

※2012年9月11日に尖閣は国有化 ※2020年12月17日までに公表されたデータを基に作成

コロナ禍にも関わらず尖閣沖接続水域への侵入は過去最多の319日・1118隻
王毅外相の『尖閣は中国の主権。偽装漁船の侵入をやめさせる』との発言からも中国が尖閣支配の勢いを強めてるのは明らか。
尖閣は日本の領土であるとするためにも早期の環境調査・選挙公約だった公務員常駐化を進めるべき

一面新聞

令和2年
12月18日
(金)

発行者
DAPPI



第159号



報道回想録

虎ノ門ニュース(2020年12月15日 DHCテレビ) “絶対不変の憲法”はあり得ない



12月15日に放送された虎ノ門ニュースで作家の百田尚樹氏が『絶対不変の憲法はあり得ない』と訴えた。

番組では弁護士の北村晴男氏が「抑止力をもたないと身を守れないのは明確。一番重要なのは“攻撃したら致命的な反撃をする用意”があること。相手は銃を持ってるが日本は盾で戦えという馬鹿げた議論は終わりにすべき」と憲法の問題点を述べると、百田氏は「憲法は生活様式・科学技術・国際状況等の変化で改正してくものであり“絶対不変の憲法”はあり得ないので、世界各国は戦後何回も改憲してるが日本は70年も変わらず…」と70年以上も憲法改正がされてない日本の現状を嘆いた。

また百田氏は「東日本大震災時に憲法に緊急事態要綱がないが故に道を防ぐ車を退かせず救助が遅れてしまった。数年後にそれは法整備されたが、そもそも緊急事態法が1つあれば要綱があれば速やかに対応できる」と現憲法に緊急事態条項がないことの問題点を述べつつも、「野党は『緊急事態で総理権限が大きくなれば独裁できる』と言って反対してる」と野党に苦言。これに対し北村氏は「緊急事態対処する必要性を考えてない野党はノータリン。日本がいきなり北朝鮮になると言ってるのと同じ」と野党に呆れ果てていた

注目のインターネット情報

自衛隊の処遇が低すぎる



Dappi
@dappi2019

足立康史「自衛隊の処遇が低すぎる。特に危険手当にかかる規定が足りない。また殉職された自衛官の追悼は会議室で国家追悼ではなく防衛省行事。異議を感じる」

命がけで国民のために働いてるのに処遇も低く、違憲と言われる自衛隊。

一刻も早く地位向上・待遇改善すべき

#kokkai



午後1:12 · 2020年12月16日 · Twitter Web App

2020年12月26日 (衆議院 内閣委員会)